

## 第21期第4回理事会議事録

日時 昭和56年12月1日(火) 18.00~19.30

場所 愛知県中小企業センター第二会議室

出席者 常任理事：岸保，小平，浅井，河村，杉村，竹内，二宮，松本，増田，村山  
理事：伊藤(昭)，菊地，坂上，武田，中島，山元

## 議 題

## 1. 昭和57年度予算(案)について

荒井会計理事から、予算編成の概要について、次のとおり説明があった。

## a) 支部交付金の増額について

基本額7万円を10万円に、会員1人当の交付金500円を700円とした。これに要する経費約58万円を計上した。

## b) 「「ひまわり」の画像から」を「天気」に継続掲載することについて

当分の間必要であると認められたので、70万円を計上した。

## c) 夏季大学の助成金について

支部で夏季大学を開催する場合の経費として5万円を計上した。

## d) 水資源シンポジウムの分担金について

かつて分担金の割当があったが、支出しないで済んだので、今回もその可能性があるが、とりあえず20万円を予備費に計上した。

## e) 記念事業積立預金取崩し収入について

当初950万円を見込んだが、その後検討の結果、不足することになったので、1,050万円に増額し、昭和57年度予算額に繰り入れた。この中から「気象集誌」60巻1号(記念号)が56年度に刊行されるので、この経費を56年度予算額に繰り入れた。

記念事業は、特別会計にとの意見があったが、一般会計とすることに常任理事会で了承された。しかし決算の時点では、記念事業決算報告として会員に周知させる。

以上の説明に対し、

今後学会費値上げの際には支部交付金も値上げするスライド制にしてはと、山元理事から要望があったので、常任理事会で検討することになった。

## 2. 100周年記念事業について

岸保理事長から次のとおり説明があった。

a) 「気象集誌」「天気」の特別記念号発刊については各委員に大変お骨折りをいただいている。

b) 記念講演会は、記念式典終了後に2名の方をお願いして講演して貰う。

c) 地方支部における講演は、Ocean Impact Study Conference Large-scale Oceanographic Experimentsに参加した気象関係の方を招待して講演して貰うことにしている。目下のところ誰になるかははっきりしていない。

d) Tropical Meteorologyについては、来年10月中旬に予定しているが、当初WMO主催ということであったが、急に日本気象学会が主催で、WMO、アメリカ気象学会が後援ということになったので、気象庁にも後援をお願いして、年内にもアナウンスできるようにしたい。

補足説明として、杉村理事から「天気」記念号の表紙の色は、金、銀色について検討したが、経費がかさむので赤色とすることにした。

また、小平理事から、記念講演会の予定者は、1名はNHKからシルクロードの気象ということで内諾を得たが、講演者は未定である。もう1名は柳田邦男氏に交渉中である。

以上の説明に対し

ア. 講演場所の新たな希望。

イ. 東京は日本人講師、地方には外人講師を振りむけるのは難があるのではないか。

ウ. 地方支部での講演会は、題目によっては聴衆が集らない心配があるなどの質問が各理事から出され、支部ともよく連絡をとって再検討することで了承された。

承認事項 舟崎淳ほか7名の新入会員を承認。